町田良夫 [サウンド&ビジュアル・アーティスト]
https://www.yoshiomachida.com

1985-89 多摩美術大学
1967 埼玉県生まれ

音楽家、スティールパン奏者／美術家。多摩美術大学在学中、秋山邦晴、東野芳明、萩原朔美、菅木志雄に師事、ミニマルアート／音楽／映像を総合的に学びました。

これまで、日本、ヨーロッパ15カ国で演奏、David Toop著書「Haunted Weather」やSub Rosaからのアルバム "Japanese Avant Garde" (2002)で大友良英等と共に紹介されてきました。2005年、楽曲「アフターイメージ」(CD: Hypernatural #2)は、フランスのTVCM曲になりました。2009年、ヴァン・クリーフ&アーペル初の大回顧展の音響デザイン／音楽を、 2020年、NHK番組「THE 陰翳礼讃 ～谷崎潤一郎が愛した美～」の音楽を担当しました。

90年代、アジア、アフリカで国際協力に従事、様々な現地の民族音楽と出会いました。この体験からアジアのアイデンティティーと言える太陽信仰文化に触発され、太陽の象徴であった銅鑼(どら)を使った音響作品「ハイパーナチュラル・シリーズ」を発表。更に即興性への興味から銅鑼と同じ金属倍音音色のスティールパンを自ら製作、即興演奏で独自の音楽を追究、アルバムをリリース。Walk With The Penguin、miimo、オハナミ (山本達久 [ds]とのユニット)などのバンドを結成。朝崎郁恵(奄美民謡)、ヨシダダイキチ、山本精一らとも共演しています。

音楽レーベル、AMORFON (アモルフォン)を自ら主宰、東欧、ロシアを含む国内外のユニークな音楽をリリース、これまで交流が無かった日本とマケドニアの現代美術作家による初の交流展を両国で企画／開催しました。町田が音楽の即興性について問題提起した企画CD「キンダームジーク：赤ちゃんの即興音楽」は、5カ国／10人の赤ちゃんの即興演奏のみを集めたCDで、世界初の試みです。美術家としては印画紙を使った独自の絵画、 "PHOTOBATIK" (フォトバティック)を制作、国内外で展覧会も開いています。2023年にはタロットをベースにした「ナラティブカード」を制作、音楽誌への寄稿、レクチャー、子供向けのワークショップを途上国の小学校、孤児院等で行なっています。

「研ぎ澄まされた音の流れに目が覚める」 (ミュージック・マガジン2009年6月号)
「スチールパンの新しい旅」 細野晴臣(ソトコト2006年7月号)
「ドリーミーな傑作」 松山晋也(CDジャーナル2006年7月号)
「スティール・パンからここまで多彩な表情を引き出すことができるのかと驚愕」(Studio Voice 2004年2月号)
「近年にわかに注目を集めつつある音楽家」 梅津元(BT美術手帖2002年6月号)
「"現実"と虚像の間の美しい関係」 The Wire(英国音楽誌2008年)
「光と反射・・・浄化と瞑想の時」 Brainwashed(米国音楽誌2006年)

■コンサート

2023 簗田寺(東京)
Soup(東京)
Apollo(東京)
Soup(東京)

2022 CON TON TON VIVO(東京)
音音(東京)

2020 フィッシャリーナ鴨川(千葉)

2019 Dom kulture "Studentski" Grad(ベオグラード／セルビア)
Izba(ノヴィ・サド／セルビア)
Soup(東京)
Ftarri(東京)
簗田寺(東京)
Velvetsun(東京)
七針(東京)

2018 驢馬駱駝(ろまらくだ)(東京)

Apollo（東京）
Shimauma（東京）
l’An Vert（リエージュ／ベルギー）
Le Diamant d'or（ストラスブルグ／フランス）
Worm（ロッテルダム／オランダ）
AB Salon（ブリュッセル／ベルギー）
Filmwerkstatt Dusseldorf（デュッセルドルフ／ドイツ）
Apollo（東京）
440（東京）
曼荼羅（東京）
スーパーデラックス（東京）
ぎゃるり でんぐり（東京）
Apollo（東京）
Velvetsun（東京）

2017 スーパーデラックス（東京）
Come-in（モスクワ／ロシア）
Piranezi lab（モスクワ／ロシア）
Ustvarjalni center Svicarija（リュブリャナ／スロベニア）
Stolp Skrlovec（クラーニ／スロベニア）
Kulturni dom（ベルティンチ／スロベニア）
KOGL（ヴェリカ・ネデリヤ／スロベニア）
Botel Marina（リエカ／クロアチア）
MKC Kombinat（ベオグラード／セルビア）
DKS Grad（ベオグラード／セルビア）
Izba（ノヴィ・サド／セルビア）
Apollo（東京）
旧劇場（横浜）

2016 KREI salon (東京)
Yellow Vision (東京)
風知空知 (東京)
Ftarri (東京)
Apollo (東京)
スーパーデラックス (東京)
Kobun Gallery (東京)
HMV & Books Tokyo (Modi 5F) (東京)
VACANT (東京)
Soup (東京)
Centesima pagina (ブラガ／ポルトガル)
Salao Brasil (コインブラ／ポルトガル)
Sonoscopia (ポルト／ポルトガル)
Desterro (リスボン／ポルトガル)
Zaratan - Arte Contemporanea (リスボン／ポルトガル)
RTV Slovenia (リュブリャナ／スロベニア)
Ambasada SKM (ベルティンチ／スロベニア)
Izba (ノヴィ・サド／セルビア)
REX (ベオグラード／セルビア)
Faculty of architecture, University of Belgrade (ベオグラード／セルビア)
MKC (スコピエ／マケドニア)
Czech Cultural Center (ソフィア／ブルガリア)
TAM (ヴェリコ・タルノヴォ／ブルガリア)
足立区立千住中学校 (東京)
ナタラジ (東京)

2015 Ftarri (東京)

The Foxhole (東京)
Apollo (東京)
3331アーツ千代田 (東京)
円盤 (東京)
Bar Buena (東京)
l-e (東京)
スーパーデラックス (東京)
代々木Barbara (東京)
The Foxhole (東京)
ブルガリア国営放送局 (ソフィア／ブルガリア)
Thracian Art Of Eastern Rhodopes (アレクサンドロヴォ／ブルガリア)
Our World Art Venue Center (ヴァルナ／ブルガリア)
Sofia Arsenal - Museum of Contemporary Art (ソフィア／ブルガリア)
kuS (ヒーレン／オランダ)
L'An Vert (リージュ／ベルギー)
Cafe Central (ブリュッセル／ベルギー)
Baustelle Kalk (ケルン／ドイツ)
mex (ドルトムント／ドイツ)
"Le Guess Who?" festival (ユトレヒト／オランダ)
v2 (ロッテルダム／オランダ)

2014 おんがくのじかん (東京)
山羊に、聞く? (東京)
スーパーデラックス (東京)
The Foxhole (東京)
オルガンジャズ倶楽部 (東京)
The Foxhole (東京)
DOMMUNE (東京)
Last Waltz (東京)
Ftarri (東京)
HAUSKA (東京)
なってるハウス (東京)
スーパーデラックス (東京)
l-e (東京)
hiromiyoshii roppongi (東京)
埼玉県こども動物自然公園 (埼玉)
Ftarri (東京)
スーパーデラックス (東京)
soup (東京)
The Foxhole (東京)
ギャラリーセプチマ (東京)
The Foxhole (東京)

2013 アムリタ (東京)
Velvet Sun (東京)
スーパーデラックス (東京)
Club Goodman (東京)
The Foxhole (東京)
スーパーデラックス (as Ohanami) (東京)
アムリタ (東京)
Powers 2 (as Ohanami) (東京)
three (東京)
スーパーデラックス (東京)
HAGISO (東京)
アート・ビオトープ那須 (栃木)
金王八幡宮境内 (東京)

六本木アークヒルズ・カラヤン広場 (東京)
高円寺北中通り商店街 (東京)
Oldich (モスクワ／ロシア)
Mitenov Studio (モスクワ／ロシア)
PLATOON KUNSTHALLE, CYBERFEST 2013 (ベルリン／ドイツ)
440 (as Ohanami) (東京)
The Foxhole (東京)

2012 The Foxhole (東京)
merdre (東京)
three (東京)
Strings (東京)
The Foxhole (東京)
Super Deluxe (東京)
Super Deluxe (東京)
新世界 (東京)
バレルハウス (東京)
未来市民文化祭2012、富山県庁前噴水公園 (富山)
The Foxhole (東京)
楽道庵 (東京)

2011 Vacant (as 蓮沼執太フィル) (東京)
WIRED CAFE<>FIT (as miimo) (東京)
埼玉県立近代美術館 (埼玉)
Soup (with A qui avec Gabriel) (東京)
晴れたら空に豆まいて。(as Ohanami) (東京)
埼玉県立近代美術館 (埼玉)
7th Floor (as miimo) (東京)
The FOXHOLE (東京)
Three (with 三沢泉) (東京)
Ragslow (as Ohanami) (岡崎)
Metro (as Ohanami) (京都)
7th Floor (東京)
スーパーデラックス (as miimo) (東京)
Club Wire (as Ohanami) (東京)
Velvet Sun (as Ohanami) (東京)
toki (東京)
7th Floor (as miimo) (東京)
The Foxhole (東京)
Nachtjournal Festival, Stadtgarten (ケルン／ドイツ)
Extrapool (ナイメーゲン／オランダ)
Intro in situ (マーストリヒト／オランダ)
General Public (ベルリン／ドイツ)
Graffit Gallery (ヴァルナ／ブルガリア)
Alarma Punk Jazz Festival, Generalut razdava shokolad (ソフィア／ブルガリア)
Velvet Sun (東京)
The Foxhole (東京)
Kong Tong (as miimo) (東京)
難波ロケッツ (as miimo) (大阪)
ハルモニア (姫路)
ガリガリ (東京)
The Foxhole (東京)

2010 ペンギンハウス (東京)
7th Floor (as miimo) (東京)
青山ブックセンター本店 (as miimo) (東京)

リキッドルーム (as miimo) (東京)
スーパーデラックス (with ヨシダダイキチ) (東京)
青山ブックセンター本店 (as miimo) (東京)

2010 O-nest (as miimo) (東京)
7th Floor (as miimo) (東京)
festival「Sense of Wonder」(as miimo) (茨城)
青山ブックセンター本店 (as miimo) (東京)
Manda-La2 (東京)
KD Japon (as miimo) (名古屋)
アヴァンギルド (as miimo) (京都)
フォルツァ総曲輪 (as miimo) (富山)
鰻谷 燦粋 (as miimo) (大阪)
7th Floor (as miimo) (東京)
「福嚴寺Fes, 2010」 (with minamo) (浜松)
スーパーデラックス (as Ohanami) (東京)
Deepa (as Ohanami) (東京)

2009 Pink Noise (as miimo) (東京)
Grapefruits Moon (東京)
茶箱 (東京)
Kong Tong (as miimo) (東京)
青山ブックセンター (as miimo) (東京)
KD Japon (as miimo) (名古屋)
鰻谷Sansui (as miimo) (大阪)
440 (as miimo) (東京)
Asagaya Loft A (東京)
Lalaport豊洲 (東京)
Club Goodman (東京)
Nadiff A/P/A/R/T (東京)
7th Floor (as miimo) (東京)

2008 「円盤ジャンボリー」O-nest (東京)
w-jaz (東京)
月見ル君想フ (as miimo)(東京)
Metro (朝崎郁恵サポート)(京都)
O-nest (東京)
Flying Teapot (東京)
アムリタ食堂(朝崎郁恵サポート) (東京)
Velvet Sun(東京)
O-nest(pasadenaサポート) (東京)
Warter(柏)
Club Ikspiari (as miimo)(舞浜)
Show Boat(Neohachiサポート)(東京)
青山ブックセンター六本木 (as miimo) (東京)
マドラウンジ (as miimo)(東京)
アンデパンダン (as miimo)(京都)
KD Japon (as miimo)(名古屋)
puddle (as miimo)(金沢)
村門 (as miimo)　(富山)
festival「FOR 座 REST 2008」広瀬座 (朝崎郁恵サポート)(福島)
festival「ホープ県」Shangri-La(大阪)
festival「ホープ県」Shangri-La(大阪)
Basement Bar(東京)
世田谷美術館(東京)
Club Goodman(東京)

Flying Teapot (東京)

2007 Loop-line(東京)
悠久庵(東京)
円盤(東京)
Uplink (with Sitar Tar!)(東京)
Bullet's (wih aen)(東京)
Flying Teapot(東京)
Salon by Marbletron(東京)
Kong Tong (as Miimo)(東京)

2007 ParaGLOBE (with aen)(東京)
青山ブックッセンター六本木(東京)
青山ブックッセンター自由が丘(東京)
Super Deluxe (as Miimo)(東京)
440 (haccaのサポート)(東京)
円盤(東京)
青山蜂 (as miimo)(東京)
フェスティバル「Sense of Wonder」(朝崎郁恵サポート)(山梨)
「art-link 上野-谷中 2007」Scai The Bathhouse (東京)
440 (as miimo) (東京)
Manda-La2 (コクシネルのサポート)(東京)
O-nest (as miimo)(東京)
Kong Tong (as miimo)(東京)
Uplink(東京)

2006 Art Clinika(ノヴィ・サド/セルビア)
Rex (ベオグラード/セルビア)
Niski Simfonijski Orkestar (ニシュ/セルビア)
MaerzMusik現代音楽祭(ベルリン/ドイツ)
青山ブックセンター六本木(東京)
ICC(東京)
HMV渋谷店(東京)
円盤(東京)
青山ブックセンター表参道(東京)
アップルストア渋谷(東京)
青山ブックセンター六本木(東京)
Appel(東京)
Super Deluxe(東京)
andZONE(東京)

2005 Salon by Marbletron (東京)
Combine (東京)
Metro (京都)
Appel (東京)
cafe santa (日吉)
Hun Lahun (東京)
Loop-line (東京)
青山ブックセンター(東京)

2004 BankART1929 (横浜)
Cafe Independent (京都)
Canolfan (名古屋)
Loop-line (東京)
大学セミナー・ハウス (東京)
多摩川河川敷 (東京)

"ISEA2004" Slija Ferry (フィンランド)
Grapefruit Moon (東京)
OT301 (アムステルダム／オランダ)
Zakk (ブレーメン／ドイツ)
studio14 paradis (パリ／フランス)
Izba (ノヴィ・サド／セルビア)
Sava Zebeljan小学校 (ツレパヤ／セルビア)
Rex (ベオグラード／セルビア)
The Botanical Gerden (ベオグラード／セルビア)
Tocka (スコピエ／マケドニア)
The Mosque Gallery (ビトラ／マケドニア)
Rhiz (ウイーン／オーストリア)
Salon by Marbletron (東京)
TokyoFM, Radio session (東京)

2003 Independent (京都)
S4 (名古屋)
Val (東京)
Muha (モスクワ／ロシア)
The city center (サンクト・ペテルブルグ／ロシア)
JFC (サンクト・ペテルブルグ／ロシア)
Fridbergkrasts (ラトビア)
ausland (ベルリン／ドイツ)
Astra-stube (ハンブルグ／ドイツ)
Zaal100 (アムステルダム／オランダ)
Nebo Boat (ゲント／ベルギー)
Project100 (パリ／フランス)
Ferm du Biereau (ルーヴァン・ラ・ヌーヴ／ベルギー)
Kulturbunker Muelheim (ケルン／ドイツ)
galerie rachel haferkamp (ケルン／ドイツ)
MeX (ドルトムント／ドイツ)
"Europhonic Jazz Festival" Domicil (ドルトムント／ドイツ)
Cuba (ミュンスター／ドイツ)
"Ring Ring Festival" National Library (ベオグラード／セルビア)
Izba (ノヴィ・サド／セルビア)
Mesto (スコピエ／マケドニア)
The City Gallery (ビトラ／マケドニア)
Lewisham Arthouse (ロンドン／UK)
Hat on Wall (ロンドン／UK)
Canolfan (名古屋)
Sputnik Pad (東京)

2002 super deluxe (東京)
"SONAR in Tokyo", 六本木ヒルズInformation Center (東京)
OFF SITE (東京)
金沢市民芸術村 (金沢)
Canolfan (名古屋)
Futuro (大阪)
Cafe Independent (京都)
Pepper's Loft Gallery (東京)
Extrapool (ナイメーゲン／オランダ)
Gallery Schneiderei (ケルン／ドイツ)
Cuba (ミュンスター／ドイツ)
CKZD Pavillion Veljkovic (ベオグラード／ユーゴスラビア)
Art Klub (ノヴィ・サド／ユーゴスラビア)

2001 CAY (東京)

■展覧会

2014 "東京都初耳区(サウンド・インスタレーション)"参加, スーパーデラックス, 東京

2011 個展, "MARU"、Graffit Gallery, (ヴァルナ、ブルガリア)
"New Vision Saitama 4", 埼玉県立近代美術館 (埼玉)

2008 "パーク展 -アジアの現代美術作家2008-", BankART Mini Gallery (横浜)

2006 オーバーハウゼン短編映画祭委託作品DVD "Loop Pool Ping Pong"へ映像参加
"脳天気 / Weather in My Brain展" 映像&音楽参加 (台北, 台中／台湾)

2005 第一回国際アーティスト・フラッグ展 参加(ノヴィ・サド／セルビア)
グループ展, Appel, 東京

2004 日本マケドニア現代アート交流展, "Collaboration", BankART1929 (横浜)
日本マケドニア現代アート交流展, "Collaboration" (ビトラ&スコピエ／マケドニア)
ISEA2004参加 (フィンランド)
"Ecoute (Listen)"展参加, ポンピドゥーセンター (パリ／フランス)

2003 "Dark Symphony"展参加, アルス・エレクトロニカ, (リンツ／オーストリア)
町田良夫 + Vladislav Dobrovolski展, MUHA (モスクワ／ロシア)
site-specific installation, ヘラクレア遺跡 (ビトラ／マケドニア)

2002 個展, "Photobatik", Pepper's Loft Gallery (東京)
個展, Izba (ノヴィ・サド／ユーゴスラビア)

2000 個展, "Recent Works", Adan (東京)
グループ展, A3 Gallery (モスクワ／ロシア)
Sonic Boom展参加 (David Toopのインスタレーション), The Hayward Gallery (ロンドン／UK)

1999 個展, "Amorphous", Gallery Ono 2 (東京)
個展, "Resonant Radiance", Gallery B-One (東京)

1998 グループ展, Twin 21 Gallery, 大阪Business Park (大阪)
グループ展, Lobby Gallery, 東京国際フォーラム (東京)

1991 グループ展, 世田谷区民ギャラリー (東京)

1988 グループ展, 新宿Lumine 2, (東京)
個展, Method高井戸Club (Art SOKO), (東京)

1986 グループ展, 多摩美術大学 (東京)

■レクチャー／ワークショップ

2017 サウンド・ワークショップ @ TUMO (ステパナケルト、ナゴルノ・カラバフ-アルメニア)
子どもワークショップ @ Djordje Natosevic小学校 (ノヴィ・サド、セルビア)
子どもワークショップ @ Sava Muncan工業学校 (ベラ・ツルクバ、セルビア)
子どもワークショップ @ ベラ・ツルクバ孤児院 (ベラ・ツルクバ、セルビア)

2016 サウンド・ワークショップ @ プリンス・オブ・ソンクラー大学 (ハトヤイ、タイ)

子どもワークショップ @ gnration (ブラガ、ポルトガル)
子どもワークショップ @ Svetozar Markovic小学校 (ベオグラード、セルビア)

2015 子どもワークショップ @ イグナティエヴォ小学校 (イグナティエヴォ、ブルガリア)

2012 保育士向けの音楽ワークショップ@ 子ども自然園(東京)

2011 子どもワークショップ @ Graffit Gallery (ヴァルナ、ブルガリア)

2009 子どもワークショップ @ ルピシア (東京)

2006 レクチャー@Polytechnic アカデミー(ベオグラード、セルビア)
プレゼンテーション@REX(ベオグラード、セルビア)
ワークショップ @ Sava Zebeljan小学校 (ツレパヤ／セルビア)

2005 小学生のためのワークショップ@南砂小学校、にしすがも創造舎/ASIAS (東京)
ワークショップ @ にしすがも創造舎 (東京)

2004 レクチャー @ 大学セミナーハウス (東京)
ワークショップ @ Sava Zebeljan小学校 (ツレパヤ／セルビア)

2002 レクチャー @ "SONAR in Tokyo", 六本木ヒルズInformation Center (東京)
ワークショップ @ Art Klub (ノヴィ・サド／ユーゴスラビア)

■Grants

2008 パーク展 -アジアの現代美術作家2008-, 芸術文化振興基金(深沢アート研究所と共に)

2004 ISEA2004, ASIA-EUROPE Foundation
日本マケドニア現代アート交流展, 財団法人ポーラ美術振興財団
日本マケドニア現代アート交流展, 日商岩井国際交流財団

2003 国際シンポジウム展覧会「IF」, 野村国際文化財団

■出版

2023 カセット : Osoyoos (町田良夫+キャル・ライアル) Satellite Rides, Night Lies (VLZ Produkt, 日本)
ナラティブカード (カード、アプリ) (Amorfon, 日本)

2020 10インチレコード : 町田良夫+キャル・ライアル “Premeditation” (By The Bluest of Seas, ベルギー)
Digital : 町田良夫+ジョルジュ・ケイジョ “Tokyo” (Jorge Queijo, ポルトガル)
Digital : Soma & Lili “Live in Japan”(一曲参加) (Soma & Lil, デンマーク)

2017 CD : 町田良夫+コンスタンタン・パパゲオルギアディス "Music from the SYNTHI 100" (Amorfon, 日本)
CD : Walk With The Penguin "Charm" (Amorfon, 日本)

2016 CD : ジョルジュ・ケイジョ／千葉広樹／町田良夫 "Luminant" (Amorfon, 日本)
CD : ソロ "Tender Blues" (amorfon, 日本)

2015 7.5インチ レコード: V.A, CYLAND AUDIO ARCHIVE, ロシア

2014 CD: "Music from the SYNTHI", Baskaru, フランス

2013 7.5インチ レコード: SYNTHI works, CYLAND AUDIO ARCHIVE, ロシア

CD: オハナミ "アガパンサス", wonderyou, 日本

2012 12インチレコード : "スティールパン即興音楽シリーズ「イ」", 自主出版
12インチレコード : "スティールパン即興音楽シリーズ「ロ」", 自主出版
2012 CD: miimo "miimo 5", 自主出版

2011 CD: miimo "miimo 4"
DVD: Scape*dance, 自主出版

2010 CD: miimo "miimo 3"
CD: オハナミ "オハナミ" wonderyou, 日本
CD: "The Spirit of Beauty", Amorfon, 日本

2009 CD : "スティールパン・インプロヴィゼーション", 自主出版
CD : miimo "miimo 2", 自主出版

2008 CD : "Hypernatural #3", Baskaru, フランス

2007 CDR : "Read A Book With Steel Pan", absurd/eclipsis, ギリシャ
CD+DVD : V.A. "SILENT ROOM FAKTORY BOX 01 | skoltz_kolgen", SK Factory, カナダ
CD : V.A. "Yasujiro Ozu - Hitokomakura", and/OAR, アメリカ
CDR : miimo “miimo”, 自主出版
CD : Walk With The Penguin “君のためにスプーンを盗む”, amorfon, 日本
CD : V.A. “Resonance: Steel Pan in the 21st Century”, Quiet Design, アメリカ

2006 CD : V.A. "water music", Commune Disc, 日本
CD : "Naada", amorfon, 日本

2004 CD : "Infinite Flowers" amorfon, 日本
ノート : コクヨ, "An" シリーズ, KOKUYO, 日本
CD : V.A. "seeds of dub", mao, 日本
CD : V.A "*Music for Baby!", amorfon, 日本

2003 CD : V.A "lib.", cubicfabric, 日本
CD : V.A "Kraakgeluiden", unsounds, オランダ

2002 CD : V.A "Japanese Avant Garde", sub rosa, ベルギー
CD : V.A, Improvised Music from Japan, 日本

2001 CD : "HYPERNATURAL #2", softl music, ドイツ

1999 CD : "HYPERNATURAL", 自主出版
FD : "AMORPHOUS" (Koan Pieces with Koan software by SSEYO Ltd.), 自主出版

■寄稿

レビュー「ナラティブカード」(intoxicate vol.166, 2023 日本)
書籍レビュー「絶滅動物物語」(intoxicate vol.164, 2023 日本)
DVDレビュー「びじゅチューン! DVD BOOK5(井上涼)」(intoxicate vol.144, 2020 日本)
雑誌記事「ペク・ヒナ「あめだま」 人形制作、緻密なセットづくり」(intoxicate December, 2018 日本)
CDレビュー「ジョー奥田『Tokyo Forest 24Hours』 都会の森の24時間を伝える」(intoxicate summer, 2018 日本)
CDレビュー「Jorge Queijo」(intoxicate vol.119, 2015 日本)
雑誌記事「大人の科学」(intoxicate vol.113, 2014 日本)
雑誌記事「池田亮司『supercodex』」(intoxicate vol.106, 2013 日本)
雑誌記事「マリウシュ・ヴィルチンスキ――リアルな映像」(intoxicate vol.103, 2013 日本)

雑誌記事「メランコリックな宇宙 ドン・ハーツフェルト作品集」(intoxicate vol.101, 2013 日本)
雑誌記事「東京アートミーティング（第3回）「アートと音楽-新たな共感覚をもとめて」」(intoxicate vol.100, 2012 日本)
CDレビュー「Oval / OvalDNA」(intoxicate vol.96, 2012 日本)
雑誌記事「ホフェッシュ・シェクター」(Tower Record web, 2010 日本)
雑誌記事「ヤン冨田、フィッシュリ&ヴァイス」(intoxicate vol.88, 2010 日本)
雑誌記事「ジム•オルーク」(intoxicate vol.82, 2009 日本)
雑誌記事「Exotic Grammer: JegogとPianorquestra」(intoxicate vol.78 Apr. 2009 日本)
雑誌記事「日本のコンピューター・ミュージックについて」(Page 66 2007/2008 UK)
雑誌記事「アモルフォンについて」(Improvised Music from Japan Dec. 2005 日本)
CDレビュー「MINAMO/SHINING」(intoxicate vol.55 Apr. 2005 日本)
映画レビュー「EMILY YOUNG/KISS OF LIFE」(intoxicate vol.53 Dec. 2004 日本)
雑誌記事「Global Ear: Skopje+Bitola」(THE WIRE issue246 Aug. 2004 UK)
雑誌記事「最近のこと」(musee vol.49 May. 2004 日本)
雑誌記事「Amorphoneとヨーロッパツアー」 (Improvised Music from Japan IMJ-301 2002 日本)
CDレビュー「THE BOOKS／Thought For Food」 (musee vol.38 Jul. 2002 日本)
雑誌記事「お気に入りのレコード」 (スタジオボイス vol.312 Dec, 2001 日本)
雑誌記事「Tomlab, bmblab, softl music」 (musee vol.32 Jul. 2001 日本)
雑誌記事「Joel Ryan」 (musee vol.29 Jan. 2001 日本)
雑誌記事「なかから光っている木」 (musee vol.25 May. 2000 日本)

■他の活動・企画

2023 NHK番組「円山応挙 奇跡の寺 165面のふすま絵」サウンドトラック制作

2022 NHK番組「21世紀のBUG男 画家 大竹伸朗」サウンドトラック制作

2020 NHK番組「The 陰翳礼讃」サウンドトラック制作

2009 Van Cleef & Arpels展のサウンドトラック、音響(六本木ヒルズ、東京)

2008 現代美術展、"パーク展-アジアの現代美術作家2008-"を深沢アート研究所と共同企画

2005 ドイツ年／音響と映像のイベント、"Sound & Image"の企画運営(東京)
関根伸夫展／展示映像制作@埼玉県立近代美術館(埼玉)
フランスTVコマーシャル"www.visual.fr"の楽曲提供

2004 日本マケドニア現代アート交流展の企画運営 (マケドニア／日本)
Skartレクチャー企画 with A.I.T. (東京)

2003 音楽レーベル、Amorfon (アモルフォン)設立